

方眼スクリーン

使用目的

歯列・咬合と姿勢は互いに影響し合っています。全身写真撮影は患者さんの普段の姿勢が不正咬合の原因になっていないか診査するための重要な検査項目です。

撮影の背景に方眼のスクリーンと垂直測定器を用いることで、頭位の傾き・姿勢の左右の対称性などが簡単に分かります。

セット内容

- 方眼ロールスクリーン
- 垂直測定器(下げ振り)
- 全身写真撮影マニュアル



サイズ：2種類

タイプ1 W1000×H2000cm

タイプ2 W1300×H2400cm

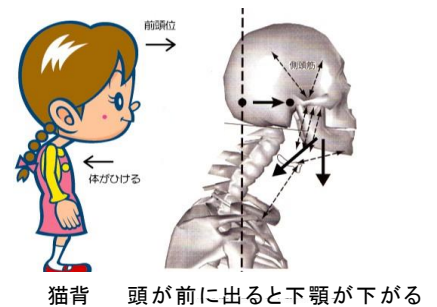
姿勢の診査で最も注意すべき姿勢は前頭位(頭部前方位)です

姿勢が悪い、猫背(体が後にひける)

→バランスをとるためにお腹と頭が前に出る(=前頭位)

→首が前傾した分下顎が後下方へ引っ張られて後退する

⇒下顎の後退(アングルⅡ級)、口呼吸、低位置などの不正咬合の悪習癖を誘発する場合があります。



使用方法

